

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

生活目標

『あいさつを

しっかりしよう』

平成24年 5月 30日

第2号

川越市立高階南小学校

感謝の気持ちを言葉にのせて！

風薫る5月。爽やかな季節を迎えました。子どもたちは、それぞれ入学・進級からほぼひと月が過ぎ、その表情には少しずつ余裕も生まれ、学校全体に落ち着きが出てきたようです。

そのような中、4月27日(金)には、離任式が行われました。体育館のステージで、子どもたちの代表が、転任された先生方に手紙を読んでもくれました。多くの人が見守る中、自分の言葉でしっかりと気持ちを伝える姿をととても頼もしく感じました。たくさんの方の前で「思いを伝える」には、経験が必要です。緊張しながらも一生懸命がんばってくれた皆さんをととても誇らしく思います。大変立派でした。

体育館いっぱい響き渡った校歌も素晴らしいものでした。「ありがとう さようなら」の歌をバックに、各先生への感謝の気持ちを呼びかけるイベントにも心を打たれました。6年生を中心に取り組んだ心温まる離任式に、学校を去られる先生方も大変感謝されました。加藤校長先生をはじめ、全ての先生方から、

「保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。よろしくお伝えください。」とのお言葉をいただきました。

子どもたちは、お世話になった先生方への思いを胸に、かわいい1年生や新しい先生方とともに手を携え、さらに成長し、明日への一歩を踏み出す決意を新たにしてくれたようです。

目指す児童像「やさしい子」について考える。

足のけがから、松葉杖をついて登校している児童が何人かいます。

先日、階段の手前でふと目をやると、一人の男の子が、松葉杖をつく友達の荷物を手に、その子の後ろからゆっくりゆっくり階段を上って行く姿を目にしました。見ているだけで嬉しくなりました。とても幸せな気分になりました。

思いを形にする、特に、行動に表すのは難しいことかもしれません。相手を思いやる気持ちがあっても、それを行動に表す機会がなかったり、言葉に表す勇気がなかったりすることもあるでしょう。それは仕方のないことです。

本校が目指す児童像「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」

このうち「やさしい子」の具体的な姿としては、「思いやりのある行動がとれる子」「仲間と共に最後までやり抜ける子」を掲げています。

大切なのは、行動の根っこにある気持ちを育てることだと考えています。学校生活、家庭生活を通して子どもたちは様々な人と出会い、たくさんの経験を通して、人を思いやり、仲間を大切にすることを育てていきます。心の中に灯った「思いやり」の火は、いつか必ず、ここぞというときに、さりげないやさしさや勇気ある行動として子どもたちを突き動かしてくれるに違いないと信じています。

今年の本校の学校研究のテーマは「心の教育」です。子どもたちの可能性を信じながら、全教職員で真剣に取り組んでまいります。

